

生活支援コーディネーターの役割とは・・・

社会資源の把握

～地域の支えあいに関する情報の整備～

サロンなどの地域の居場所や生活支援に関する有償サービス、NPOやボランティアグループなど地域の社会資源を把握し、「見える化」を行います

生活支援ニーズの把握&共有

～市民の困りごとをみんなで考える～

ニーズ把握のためのアンケート調査や福祉懇談会などにより把握・分析をし、住民や関係機関と共にこれからの住民主体による「互助活動」や「支え合い」について考えます

協議体の開催

～多様な主体と意見交換・連携する～



SCと生活支援・介護予防サービスの実施主体等が参加し、地域における課題や情報共有連携強化の場『第1層協議体（市介護保険運営協議会）』を定期的開催します



担い手の育成&発掘

～元気な高齢者の社会参加を応援～

座談会や講座の開催などを通じ、「住民主体の支え合い」を伝え、地域の困りごとに対する担い手を養成します。特に元気な高齢者が参画することで介護予防につなげます

困りごとに対するサービス情報の提供

～様々なサービス情報を提供しつなぐ～

生活支援に関する困りごとに対し、利用できるサービス情報を提供します。不足するサービスは住民、ボランティア、企業等と共に新たな支え合いのシステムを構築していきます

調査・説明・提案

社会資源の把握



サービスの情報整備

担い手の育成&発掘



座談会・講座など

ニーズの把握&共有



アンケート調査・懇談会等

サービス情報の提供



生活支援 CN

連携・協力

地域づくり協議会・自治会

住民

行政

地区社協

市介護保険
運営協議会
(協議体)

社協

民生委員

包括

シニアクラブ

NPO

社会福祉法人